



April 2, 2021
4月2日は、国際子どもの本の日です

● IBBY 加盟国

アイスランド アイルランド アゼルバイジャン アフガニスタン アメリカ合衆国 アラブ首長国連邦 アルゼンチン アルバニア
アルメニア イギリス イスラエル イタリア イラン インド インドネシア ウガンダ ウクライナ ウルグアイ エクアドル エジプト
エストニア エルサルバドル オーストラリア オーストリア オランダ ガーナ カナダ カメルーン 韓国 カンボジア キプロス
キューバ ギリシャ グアテマラ クロアチア コスタリカ コロンビア ジンバブエ スイス スウェーデン スペイン スリランカ
スロバキア スロベニア タイ タンザニア チェコ 中国 チリ デンマーク ドイツ ドミニカ トルコ 日本 ニュージーランド ネパール
ノルウェー ハイチ パキスタン パレスチナ ハンガリー フィンランド ブラジル フランス ベトナム ベネズエラ ペルー ベルギー
ポーランド ポリビア マレーシア 南アフリカ メキシコ モルドバ モンゴル ヨルダン ラトビア リトアニア レバノン ロシア

www.ibby.org

● これまでのポスター & メッセージ作成国

1967	スイス	1986	旧チェコスロバキア	2005	インド
1968	旧ユーゴスラビア	1987	旧ソ連	2006	スロバキア
1969	スウェーデン	1988	オーストラリア	2007	ニュージーランド
1970	旧ユーゴスラビア / イタリア	1989	ガーナ	2008	タイ
1971	オーストリア / 旧チェコスロバキア	1990	カナダ	2009	エジプト
1972	アメリカ合衆国	1991	ギリシャ	2010	スペイン
1973	旧チェコスロバキア	1992	コロンビア	2011	エストニア
1974	イギリス	1993	イラン	2012	メキシコ
1975	デンマーク	1994	アメリカ合衆国	2013	アメリカ合衆国
1976	イラン	1995	日本	2014	アイルランド
1977	フランス	1996	デンマーク	2015	アラブ首長国連邦
1978	オーストラリア	1997	スロベニア	2016	ブラジル
1979	ブルガリア	1998	ベルギー	2017	ロシア
1980	ポーランド	1999	スペイン	2018	ラトビア
1981	旧西ドイツ	2000	フィンランド	2019	リトアニア
1982	キプロス	2001	ハンガリー	2020	スロベニア
1983	ベネズエラ	2002	オーストリア	2021	アメリカ合衆国
1984	ブラジル	2003	ブラジル		
1985	オーストリア	2004	ギリシャ		

● 近年のポスター



IBBY

一般社団法人 日本国際児童図書評議会 / IBBY 日本支部
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32 出版クラブビル
TEL. 03-6273-7703 FAX. 03-6273-7708

www.jbby.org



言葉の音楽

詩 マーガリータ・エンゲル

本を読むと、心の翼が広がる。
文字を書くとき、指が歌う。

言葉は、太鼓をたたき音やフルートの音色のようにページのうえで響く。
空高く舞い上がる鳥、高い声で吠える象の群れ、
とうとうと流れる川、なだれ落ちる滝、
ひらひらと空高く舞う蝶！

言葉に誘われて私たちは踊り出す。
リズム、詩、鼓動、

ひづめの音や鳥の羽ばたき、古いお話や新しいお話、
空想から生まれた物語と本当にあった物語。

故郷で幸せに暮らしていても、

息せき切って国境を越え、新しい土地や

知らない言葉に向かうとしても、物語や詩は
いつでもあなたのもの。

言葉を分かち合う時、私たちの声は
未来、

平和、喜び、そして友情という音楽になる。
希望の旋律になる。



Illustration © Roger Mello

THE MUSIC OF WORDS

MARGARITA ENGLE

メッセージ作者

マーガリータ・エンゲル (Margarita Engle)



キューバ系アメリカ人の詩人。エンゲルは、その幅広い活動を認められ、ジェーン・アダムズ児童図書賞やアーノルド・エイドフ詩人賞など国内外のさまざまな賞を受賞。2017年から199年には、青少年桂冠詩人にも選任された。エンゲルはロサンゼルスに生まれたが、幼少期の夏の日々を、母親の生まれ故郷キューバで親族と過ごし、この島に深い愛着を抱くようになった。クリエイティブ・ライティングを学ぶとともに、植物学、農学を修める。現在カリフォルニアで夫と暮らす。日本語に翻訳された絵本に『おおきくなりたいの』（ティヴィッド・ウオーカー 絵 福本友美子 訳 岩崎書店）がある。

「言葉で壁をつくらないことは、私にとってごくあたりまえのことだ。私の家族はとても複雑な家族だった。家族の中に、生まれ育った土地をみずからの意思に反して離れた人、生まれ育った土地をみずからの意思で離れた人、生まれ育った土地を離れず、どこにも行かずに暮らしている人がいるのだから。そんな家族を、等しく、愛することを私は選んだ。詩を書き、物語を生み出すと勇気が湧いてくる。顔をふんだり、リズムをつけたりすれば、言葉と言葉の余白にも、言葉の木霊（こだま）は呼び起こされる。それはちようど鐘を打ち鳴らしたあと、響いてくる余韻のように。言葉は音楽。自然に発せられる調べと人間の営みが発する調べとなって奏でられるものだ。物語や詩を分かち合えば、想像力は翼をえて飛翔する。そうしてはじめて、私たちはお互いを理解しようとする。これまで存在すら知らなかった人と、私たちは隣人になる。」

ポスター作者

ロジェル・メロ (Roger Mello)



1965年、ブラジルの首都ブラジリアで生まれる。2014年国際アンデルセン賞・画家賞受賞。百冊を超えるイラストレーションの仕事があり、うち25冊は文章も手がけている。中国、コロンビア、フランス、ドイツ、イタリヤ、日本、メキシコ、ペルー、ロシア、韓国、台湾で個展を開催。また世界中のグループ展や絵本フェアなどにも作品を出展している。絵本は、アルゼンチン、ベルギー、中国、コロンビア、デンマーク、フランス、イラン、メキシコ、オランダ、韓国、スウェーデン、スイス、台湾、アメリカなど15カ国で翻訳出版されている。日本では、中国の国際アンデルセン賞作家・曹文軒の文による『はね』（濱野京子 訳 マイティブック）が出版されている。

「私がマーガリータ・エンゲルの詩の音楽性、リズム、ビートに想像力をかき立てられたように、地球上のあらゆる生き物も動物だって人間だってが、わくわくするのは間違いがない。多様性が生み出す唯一無二のビート、文学やアートから響いてくるビートを聴く子どもたちは、「内なる他者の声」に気づくようになる。子どもたちの権利、読者としての権利、優れた文学を読む権利に常に取り組んでいるIBBYは、多様なものが調和する可能性の証しとして、常に私の心にある。「国際子ども本の日」は毎年、面白くて、楽しい舞台を用意して世界中の子どもたちの声が織りなすコーラスを祝ってきた。子どもは多様で、詩人であり、哲学者だ。子どもたちの詩とそのビートに耳を傾けよう。マーガリータの詩の言葉を借れば、それは心臓の鼓動、ひづめ、そして翼の奏でる音なのだ。このポスターの画の中に、生きとし生けるものすべてを打ち震わせる音を描こうと思った。言葉・音楽・目に見えるイメージすべてを横断するIBBYの精神そのものを。」

IBBYと国際子ども本の日

国際児童図書評議会（IBBY）は、子どもと本をつなぐ人々の国際的なネットワークとして、1953年に創設されました。現在80の国と地域が加盟しています。

1966年、IBBYは、人々の子ども本に対する関心と呼び起こすため、童話作家ハンス・クリスチャン・アンデルセンの誕生日である4月2日を「国際子ども本の日」と定め、世界中でお祝いや催しを行うことにしました。翌年からは、IBBYに加盟する国々が順番にポスターとメッセージを作成し、世界中に発信するようになりました。IBBY日本支部であるJBIBYは、各国がつくる世界共通ポスターとメッセージを日本語版で作成し、国内の図書館などに配布しています。

2021年は、アメリカ合衆国が担当し、アメリカを代表する詩人作家のマーガリータ・エンゲルが詩を書きました。そして、その詩をブラジルの国際アンデルセン賞画家ロジェル・メロが美しいイラストレーションで表現しました。

日本の4月は木の芽が息吹き新しい生活が始まる季節です。「国際子ども本の日（4月2日）」、「絵本週間（3月27日〜4月9日）」、「子ども読書の日（4月23日）」、「こどもの読書週間（4月23日〜5月12日）」など、子どもと本をつなぐ活動が活発です。子どもたちが、一歩前に踏み出せるような、特別な一冊にめぐり逢うことを願い、国際子ども本の日のメッセージとポスターをお届けします。

訳者 島式子（しまのりこ）
児童文学研究者、翻訳に「マイゴーストアンデル」（V・ハミルトン 作 原生林・ワタシズ・ソング）、「共訳」の「オイト作 繪巻書」 絵本の翻訳に「マツチ箱日記」（共訳）（ポール・フライシュマン 作、イバトウリ 絵、B.L出版）、「カラス笛を吹いた日」（共訳）（ロイス・ローリー 作、イバトウリ 絵、B.L出版）など。

